

停電事故および当社設備状況について（第3報）

平成12年1月1日
北陸電力株式会社

当社では、「コンピュータ2000年問題に対する危機管理計画（平成11年6月18日発表）」にもとづき、年末年始にかけて、全社的な危機管理体制をとっております。

1月1日 3時00分時点での状況を以下のとおり、ご連絡いたします。

1．停電事故の状況

停電なし

2．主要設備運転状況

当社主要設備には、コンピュータ2000年問題に起因する電力供給上の支障は生じておりません。

3．当社システム状況

3時30分現在、志賀原子力発電所は順調に運転を続けております。

ただし、プラントの運転監視には通常用いていないSPDS計算機に0時頃異常が発生し、データの送信が停止しました。現在、原因調査中ですが、プラントの運転継続には支障ありません。

また、石川県のテレメータ送信装置に異常が発生しておりますが、当社からの送信装置には異常はありません。

(SPDS計算機とは、緊急時プラント情報伝送システムであり、緊急時において原子力発電所からのプラント状態、放射線レベル等に係わる各種運転監視パラメータを本店および通産省へオンライン伝送することにより、連続監視を可能とするものです。

なお、通常の運転監視にはSPDS計算機のデータは使用していません。)

以上

[参考]

当社のコンピュータ2000年問題に関する情報は、当社ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.rikuden.co.jp/common/links/2000.htm>